

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしない…」

## 地元の良さ、再認識



# 大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

## 行動の源は「地元愛」

— 多彩な顔をもつ農家 —  
あくつ のりひと  
**阿久津 憲人さん**

皆さんは神社のしめ縄や横綱の化粧まわしが何から作られているかご存知でしょうか？ 実は麻という植物の纖維からできています。中でも「とちぎしろ(※)」という品種の麻を育て、麻の纖維を作る農家の阿久津憲人さん。長年、お兄様の経営する洋服屋で経験を積みながら、20代から栃木県県北の音楽を盛り上げようと「Hi-ENE(ハイエナ)」というバンドで活動もしている程の多彩さ。「一生洋服屋でやっていく！」と宣言していた時期もありながら、米、梨、さらには麻を育てる農家に転身した経緯とは…？！

(※) とちぎしろ…品質のいい白木という品種に、無毒の在来種をかけあわせて品種改良されたもの。無毒麻、無毒大麻と呼ばれ、無毒の状態は毎年の検査で保たれている。



●東日本大震災をきっかけに見つめ直した、地元への想い。  
阿久津さんー「東日本大震災があって、今後どうなっていくんだろうと…。僕にはちょうど0歳と2歳の娘がいて、自分がやれるることは何かなって常に見つめ直してました。地元でみんなを元気づけられることって何かなって思った時に、自分には洋服しかなかったんです。なので、とにかくお金を集めて震災の年の5月に、母校である大田原高校の通りに洋服屋をオープンさせました。」

### ●お店は順調に成長。農家として第二の人生が始まる。

「夢は自分の育てた麻が糸になり、布になって made in Ohtawara の洋服をつくること」

阿久津さんー「お客様にも恵まれて、従業員を入れると同時に、自分は農業をやっていきたいっていう気持ちがすでにありました。なぜかと言ったら、原発による農産物の風評被害

がすごくあって。それなら自分で食べるお米、子どもたちに食べさせるお米は自分で作ろうって思ったんです。単純にそれが一番のきっかけ。初めての農作業は2012年。農家である父の田植えを手伝いました。」

### ●麻との出会い。

農業を始めてまもなく、たまたま紹介で、江戸時代から鹿沼市で麻農家を営む大森さんと知り合い、纖維としての麻に出会う。

阿久津さんー「麻畑に伺った時、収穫前で麻が2m位に成長している時期で、その姿に圧倒されたんですよね。そこで初めて麻の纖維に触れました。御神事のしめ縄や横綱の化粧まわしなど、これで出来ているんだよと教えてもらい、感動しました。」

そこから2年半。一般的に取得が難しいとされる麻農家の免許を取得。

阿久津さんー「自分の農業をやりつつ、鹿沼に通って麻について勉強している中で、鹿沼市役所の方と知り合い、そこから大田原市役所に話をつなげてもらいました。僕が免許を取れたのは、いろんな方のサポートのおかげです。」



金色に輝く麻の纖維

## ●40年以上かけて父が築いてきたものを大切に。

阿久津さんー「麻を育て始めてまもなく8年。絶余曲折しながら、ようやく麻農家としての方向性が定まったので、家業の梨にも力を入れていきたいと。うちの梨が好きでいらっしゃってくれるお客様を大切にしたいという思いからも、父が築いてきた技術ややり方を吸収して、自分なりの感性でアウトプットし、応えていけるようにしたいです。阿久津さんのところでしかこういう作り方はしていないよねっていうものも、取り入れていきたいですね。」

## ●大田原の農業を盛り上げたいという熱い想い。

「大田原ってお米のコンテストで日本一を受賞した方がいたり、農業に適している地域だと思うんです。だからこそ、農家歴とか年齢に関係なく、農業についてそれぞれの価値観を話したり共有する機会が欲しいし、そうやって大田原の農業の魅力を発信して盛り上げていきたいですね。」

今回の取材で「僕が大田原に住んでいる以上、全て大田原に繋がる」「どの活動でも大田原愛が常にあります」とおっしゃっていたことに強いエネルギーを感じました。地域の循環はこうやって生まれていくんだなと再確認。これからの大田原の農業が楽しみです。（白井）



阿久津さんの育てた麻の「おがら（芯の部分）」を使って炭を作る野崎さんとの一枚。農業を通じた循環が生まれている。

### ●取扱商品

- 「幸水」 8月下旬～
- 「豊水」 9月中旬～
- 「かおり・あきづき・新高」 9月下旬～  
※少量のためご予約ください。
- 「にっこり」（ジャンボ梨） 11月上旬～



※発送期間は梨の生育状況などにより変化いたしますので、ご確認ください。

阿久津さんの育てる梨の直売所

## 乙連沢梨園

大田原市小滝8番地

Tel : 0287-48-6900

お知らせ

## おおたわら日曜あさいち

地元有志らが集まり、18年前から毎月第4日曜日に開催。生演奏やおいしいモノ、野菜、クラフトなどが揃います。

日時：9月26日（日）8時～13時

場所：山の手鍼灸整骨院駐車場／大田原市山の手1-6-3

お問合せ：NPO法人ナチュラル／Tel : 0287-24-0999

※新型コロナウィルス感染症の状況により、延期させていただく場合がございます。



出店者・出演者も募集中！



お持ちの空き家を

## 空き家バンク

で活用してみませんか？

「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録していただき、利用したい方に情報提供する制度です。

詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課 Tel : 0287-23-1916

お問い合わせ

大田原市の移住相談窓口  
大田原市移住・定住交流サロン

大田原市役所 総合政策部 政策推進課  
大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階  
Tel : 0287-23-8794  
Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp

大田原の暮らし、地域情報など発信中！



掲載したい情報を寄せください！